

## 関係機関が協力し研修・就農・定着までトータルでサポートする体制を整備 JA鹿本地域担い手育成センター（熊本県）

### 【トレーニングファームの概要】

- 所在地：熊本県山鹿市鹿央町
- 研修品目：ミニトマト、ナス、すいか
- 研修人数：6名/年
- 研修要件：研修終了後、JA鹿本管内に居住し就農できる者、一定程度の自己資金の準備ができる者 等
- 研修内容：圃場実習、座学（野菜、経営関係）、演習等
- 研修場所：JA鹿本地域担い手育成センター
- 取組の背景：JA鹿本管内の新規就農者を確保・育成するため、平成30年に県内初となる園芸品目でのJA研修センターを創設。令和4年度に山鹿市担い手育成総合支援協議会（JA、市、県、農家代表等で構成）の活動強化を行い、就農から定着まで関係機関が協力してトータルでサポートする体制を整備。当育成センターが核となり関係機関が連携して新規就農者の確保・育成・定着に向け取り組みを進めている。
- ホームページ：<http://ja-kamoto.or.jp/page-aguri-trainee/>



研修施設

### 新規就農までの流れ

- 研修生募集**
- ・HP、広報紙、YouTube、Instagramなどで情報発信
  - ・毎年9月1日～12月25日まで(募集枠いっぱいではない場合は募集期間の延長あり)
- 研修・育成**
- ・JA鹿本研修用ハウスや受入農家での実地研修
  - ・座学研修(野菜の生理・生態や土づくり、病害虫対策、農業経営計画、税務、マーケティング等)
- 就農支援**
- ・農業機械、ハウス等の補助事業斡旋
  - ・農地やハウスの斡旋
- 就農・定着**
- ・JA、市、県、地域農業者・卒業生が連携して就農から定着までのサポートを実施
  - ・卒業生や地域農業者との意見交換会等でコミュニティ形成を実施
  - ・リカレント教育の一貫でフォローアップ講座を開催

### サポート体制

- |                               |  |
|-------------------------------|--|
| <b>生産団体</b><br>(指導農業士、4Hクラブ等) | 実地研修の受入<br>・継承候補圃場や農業経営に係る情報提供<br>・インスタグラム等による農業の魅力発信<br>・事例発表等による経営事例紹介など |
| <b>市</b><br>(担当課、農業委員会)       | 研修生の募集、研修生への就農支援<br>・就農相談、補助事業支援   |
| <b>県</b><br>(地域振興局)           | 栽培技術の研究及び普及<br>・経営指導<br>(経営計画や資金繰り計画作成指導等)<br>・研修生への就農定着支援                 |
| <b>JA</b><br>(地域担い手育成センター)    | 研修生の啓発・相談・体験・研修・就農・定着までの全般的支援  |



### トレーニングファームでの研修

研修期間(2年間:7月～6月)

1年目

2年目

#### ■ 研修センターでの研修

(5つの要素を習得するためJA研修用ハウスで研修)

- ・栽培技術:作物の生理生態等の基礎的な知識を座学研修
- ・経営感覚:青年等就農計画作成、補助事業等の座学研修
- ・就農基盤:JA鹿本管農指導員や地域農業者等と協議しながら就農基盤の準備
- ・営農資金:青年等就農資金申請書作成、補助事業申請準備等を座学研修や個別対応で実施
- ・地域コミュニティ:研修卒業生や地域農業者との意見交換等

#### ■ 3パターンの研修

(研修生の意向を踏まえ選択)

- ・受入農家研修(受け入れ農家の元で栽培技術を実践的に学ぶ)
- ・研修センターでの研修(2年目の者が1年目の者に教えながらJA研修用ハウスで栽培や座学研修)
- ・研修センターと受入農家でのハイブリッド研修(就農品目、就農地が一緒に受入農家で重要な栽培管理時期のみ受入農家研修)

### 成果・実績

- ・7期生(H30年～)までが卒業し、独立自営就農者19名、親元就農者5名、雇用就農者4名を輩出
- ・移譲希望者とのマッチングで就農した者が多数おり、農地の持続的な維持に寄与



施設技術研修



卒業生の圃場視察